

友の会「樹木観察基礎講座」のご紹介



講師 樹形研究会代表・国立科学博物館名誉研究員 八田洋章先生 担当 友の会水口

講座のシンボルマーク

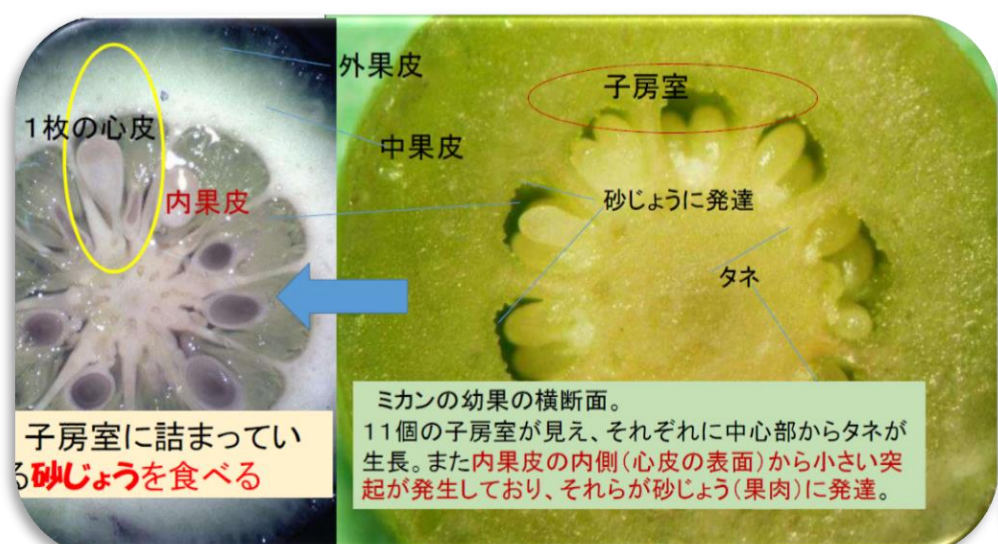
一般に観察会では花や葉などの形を見て、その植物の名前などを学んで終わるのが普通でした。しかし樹木観察の本当の楽しさは、一步踏み込んで同じ種類を、たとえ場所が違ってても継続的に観察することにあると思います。季節変化や成長の経過を自分の眼で確認します。少し丁寧に観ることで前回と異なる事象を発見したり、自然の不思議さを具体的に体感出来ます。本講座では、樹木観察の基礎となる花の構造や、枝の伸びる姿などを実物を手にとって学び議論しあいます。樹木観察の醍醐味をぜひ一緒に楽しんでください。

○2019年5月 多摩森林科学園での観察会



○2019年11月 「子房壁」から「果実」へ座学

<みかんのどこを食べてる?>



<これまでの樹木基礎講座>

1	2010年	「木の見かた、楽しみかた」
2		「樹木観察、フェノロジー調査の実際」
3	2011年	「花から果実へ」
4		「果実と種子の成熟」
5	2012年	「花のつくりと働き」
6		「果物の植物学」
7		「1枚の葉」 - 芽吹きから落葉まで -
8		「茎の伸長と肥大」 - 樹形をどうとらえるか -
9		「タブの花と同時枝」 - クスノキ科の樹種群 -
10		「サルスベリとザクロ」 - ミソハギ科の樹種群 -
11		「キンモクセイ」 - モクセイ科の樹種群 -
12	2013年	「ユズリハとアカメガシワ」
13		「リョウブの花の観察」
14		「ナワシログミの花の解剖」
15		「ロウバイの花の不思議」
16	2014年	「ブナ科の自然誌」
17		「マツ科の自然誌」
18	2015年	「イチヨウとソテツ」
19		「樹形を考える」
20	2016年	「針葉樹の自然誌」
21		「紅葉と落葉、落枝」
22	2017年	果物のなる木々「ウメやモモの仲間」
23		果物のなる木々「ナシとその仲間」
24		果物のなる木々「クリとその仲間」
25		果物のなる木々「ウンシュウミカンとその仲間」
26	2018年	「ヤマボウシの自然誌とその仲間の自生地(中国・北米)探訪」
27		「樹木観察に基づくヤマボウシの開花周期や樹形形成」
28	2019年	「多摩森林科学園での樹木観察」
29		「子房壁」から「果実」へ ~ 私達は花のどの部分を果実として食べているか ~

※2020年度の講座は未定です

